

(問 4) 青森市のこれからの街づくり構想について

これまで、青森市は「コンパクト・シティ構想」を掲げて青森市の街づくりを進めてきました。これに対し、年初に小野寺市長は、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で街づくりを進める方針を示しましたが、可能な限りで良いですので今後の街づくりについての考え方を示して下さい。

都市整備部 都市政策課

《回答》

本市ではこれまで人口減少、少子高齢化の進展等に対応する為、無秩序な郊外の開発の抑制、商業等の都市機能の既存インフラ整備がされている地域への集積（コンパクトシティ政策）に取り組んできました。しかし、近年の更なる急速な人口減少や少子高齢化等の社会環境の変化に対応した持続可能な街づくりを目指し、現在、(仮称)「青森市立地適正化計画」(※資料参照)を本年度中の策定に向けて取り組んでいるところです。

※資料参照

都市の効率性を高めるコンパクトな複数の拠点づくり、それらの拠点を接続する公共交通のネットワークを有機的に連携させることにより市内各地の特色を生かした「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくりを目指す事とし、課題としている雪や災害に対する備えの充実、都市機能と居住の適正配置、公共交通の利便性の確保等を図りながら、都市経営の効率化を進めていく必要があると考えています。また、これらの都市づくりの課題の解決に向けて、関連する他の計画と連携を取りながら効果的・効率的な政策の推進を図っていきたいと考えています。

《問》

「青森市立地適正化計画」の策定にあたって、どのように、どこから意見を取り入れているのか教えて頂きたい。

《回答》

平成 27 年度からこの計画について策定していますが、策定の取組みとして、これまでの有識者で構成される職員会議から意見を得たり、素案についてパブリックコメント等を実施し、市民からの意見の招集を実施しています。今現在はそういった意見を踏まえ原案を策定しているところです。策定の際には、宅建協会の皆様にも周知の上進めていきたいと考えています。

《意見》

我々業界の団体は、意見を述べる機会がなかなか無い為、声を聞き入れてもらう事が難しい状況でしたが、市民の意見を取り入れたいとの事ですので是非お願いします。